

**中国地方整備局総合評価審査委員会 広島県第一部会 (第11回)
開催結果の概要**

1. 日時：平成28年2月10日(水) 14:00～16:00

2. 場所：太田川河川事務所 3階会議室

3. 出席者

部会長：中山 隆弘【広島工業大学 名誉教授】

委員：山田 昌徳【広島商工会議所 産業・地域振興部長】

発注者：三次河川国道事務所、太田川河川事務所、土師ダム管理所、弥栄ダム管理所、温井ダム管理所、中国技術

4. 議事次第：

- ・ 審査対象案件(工事)の全体説明
- ・ 審査対象案件(工事)の個別審査
- ・ 審査対象案件(業務)の全体説明
- ・ 審査対象案件(業務)の個別審査
- ・ 落札者決定時の意見聴取に関する報告

5. 審査概要： ※対象案件は別添、総合評価審査部会資料(抜粋)のとおり

(1) 審査対象案件(工事)の全体説明

審査対象工事件数・・・ 一般競争入札(総合評価方式)

全 22件

<審査工事件数の内訳>

1) 評価項目・加算点の審査(公告前審査)・・・

2件

総合評価方式【施工能力評価型】内訳

工種	審査件数
一般土木	2件
計	2件

2) 技術提案の審査(入札前審査)・・・

20件

総合評価方式【技術提案評価型(S型)】内訳

工種	審査件数
一般土木	1件
計	1件

総合評価方式【施工能力評価型】内訳

工種	審査件数
一般土木	5件
維持修繕	13件
計	18件

総合評価方式【チャレンジ型】内訳

工種	審査件数
一般土木	1件
計	1件

(2) 審査対象案件(業務)の全体説明

審査対象業務件数・・・

全 19件

< 審査業務事件数の内訳 >

1) 評価項目・加算点の審査(公告・公示前審査)・・・

19件

発注契約方式		業務種別	審査件数
簡易公募型 プロポーザル方式	総合評価型	土木関係建設 コンサルタント業務	6件
簡易公募型競争入札 ・総合評価落札方式	標準型	土木関係建設 コンサルタント業務	3件
簡易公募型競争入札 ・総合評価落札方式	簡易型	土木関係建設 コンサルタント業務	5件
		補償関係 コンサルタント業務	4件
		測量業務	1件
計			19件

(3) 落札者決定時の意見聴取に関する報告

報告工事件数・・・ 一般競争入札(総合評価方式)

全 3件

(H27.12.4～H28.1.7開札分)

・ 施工能力評価型

.....

3件

報告業務件数・・・ (総合評価落札方式)

全 3件

(H27.11.30～H27.12.18開札分)

6. 審議における主な意見・質問

別紙、審議における主な意見・質問のとおり

(第 1 1 回) 審議における主な意見・質問

工事審査

○全体

- ・維持工事の申請業者の傾向についての質問。
→一般的な傾向について説明。
- ・チャレンジ型の今後の方針についての質問。
→試行の評価と今後の方針について説明。

重点審査（工事）

○広島西部山系五月が丘 4 号砂防堰堤工事

- ・評価型区分の設定（S 型）についての質問。
→難易度評価による評価型区分の設定について説明。
- ・業者への加算点の通知内容の詳細についての質問。
→加算点の通知内容について説明。
- ・施工計画の誤った記載に対する評価についての質問。
→評価の決定理由と施工方法について説明。

○太田川緊急用河川敷道路整備工事

- ・再公告にあたっての工事内容の変更についての質問。
→工事内容の変更と理由について説明。
- ・施工能力評価型における施工計画の優劣についての質問。
→施工計画の可否について説明。

業務審査

○全体

- ・個別業務（道路測量設計）の業務量についての質問。
→各々の業務量について説明。

重点審査（業務）

○江の川上流環境整備事業評価検討業務

- ・アンケート調査の方式と量についての質問。
→アンケート調査の仕様について説明。
- ・水辺の楽校についての質問。
→水辺の楽校プロジェクトについて説明。
- ・事業評価調査の項目マニュアルの有無、実施の頻度についての質問。
→各々について説明。
- ・事業評価の頻度についての質問。
→頻度について説明。

※本部会で頂いたご意見ご質問は、今後の総合評価実施での参考とします。

総合評価審査委員会資料（抜粋）

平成27年度 広島県第一部会（第11回）

審査対象工事一覧表

平成28年2月10日

◆公告前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重点審査工事を示す

総合評価審査委員会重点審査工事 No.	事務所名	工事種別	区分	工事名	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の 妥当性が判断でき る工事内容やサイ ト特性をわかりや すく記載すること)	公告時期(月)	入札方式	評価区分	難易度	施工体制確認型	参加資格	加算点の合計	施工体制		企業の施工実績							技能者の 従事計画	企業の 技術力	施工能 力	現場担 当技術 者	地元企業活用促 進型		地域精 進度・地域貢 献度	企業 の能力等 計	配置予定技術者の能力					技術者の能力等 計	備 考		
														ア) 品質確保の実効性	イ) 施工体制確保の確実性	ア) 同種工事の実績	イ) 同じ工種種別の2年間の平均実績	ウ) 工事成績優秀企業認定制度(ゴールドカード制度)	エ) 優良工事施工団体表彰/安全管理優良請負者表彰	オ) 下請表彰企業の活用	ア) 登録基幹技能者又は建設マスター	ア) 有効な新技術の活用					ア) 情報化施工の活用	ア) 現場担当技術者の配置計画			ア) 地元企業の一次下請活用率	イ) 地元資材の活用率	ア) 同種工事の実績	イ) 同種工事の工事成績	ウ) 優秀建設技術者表彰/安全管理優良技術者表彰			エ) 継続教育(CPD)	オ) 舗装施工管理技術者
1	太田川河川事務所	一般土木	C	道路	広島西部山系宮内6号管理用道路外工事	<p>本工事は掘削を主体とした砂防の管理用道路の施工を行う工事である。</p> <p>土石流の危険がある渓流内の工事であり、安全管理が重要である。</p>	2	一般競争	I型		○																												
2	太田川河川事務所	一般土木	C	河川	根谷川寺山地区築堤護岸外工事	<p>根谷川の改修事業による掘削・護岸工事で、高松橋から上流に向け工事着手しており、平成28年度は引き続き左右岸の築堤護岸工事を行う。</p>	2	一般競争	II型		○																												

◆入札前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重要審査工事を示す

総合評価審査委員会重点審査工事	No.	事務所名	工事種別	ランク	区分	工事名	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること)	評価型区分	難易度	加 点									技術提案、施工計画 【求めた技術提案】	技術資料提出者数	入札参加資格者数(欠格者を除く数)	競争参加資格不可社数		評価点			備考						
											① 施工体制	② 企業の施工実績	③ 登録基幹技能者又は建設マスター	④ 企業の技術力(有効な新技術の活用)	⑤ 施工能力(情報化施工の活用)	⑥ 現場担当技術者(現場担当配置計画)	⑦ 地元企業活用促進型	⑧ 地域精進度・地域貢献度	⑨ 配置予定技術者の能力				合計	競争参加資格不可社数	施工計画不可社数	平均点	最高点		最低点					
◎	5	太田川河川事務所	一般土木	C	道路	太田川緊急用河川敷道路整備工事	工事箇所 N=3箇所 (八幡川放水渠、山本川、新安川排水樋門) PC橋工上部 N=2基(新安川、八幡川) 新安川:橋長L=14.2m(プレテンション中空床板橋) 八幡川:橋長L=10.6m(プレテンション中空床板橋) 道路土工 1式(掘削 V=約1,100m ³ 、盛土 V=約150m ³) 舗装工 1式(アスファルト舗装工 A=約400m ² 、ブロックマット舗装工 A=約1,000m ²) 道路付属物工 1式 地盤改良工 1式 護岸基礎工 L=約25m 法覆護岸工 A=約80m ² 矢板護岸工 1式 根固め工 V=約800m ³ 仮設工 1式	施工箇所周辺は高水敷の利用者もいるため、これら利用者への安全配慮が求められる。	I型		30	14	1					4	20	70.0														
	6	太田川河川事務所	維持修繕	—	河川	太田川己斐維持工事	緊急時対応工 1式 訓練工 1式 法面補修工 1式 構造物補修工 1式 護岸補修工(薬液注入) 1式 根固め工 1式 付属物設置工 1式 清掃工 1式 水面清掃工 1式 応急処理工 1式 土のう設置工 1式	太田川下流デルタ地域の太田川、天満川、旧太田川、元安川の区間であり、中国地方の中心都市として人口・資産が集中している。洪水、高潮、水質事故等の緊急な対応が必要である。	I型		30	15					5	20	70.0															
	7	太田川河川事務所	維持修繕	—	河川	太田川大芝維持工事	緊急時対応工 1式 訓練工 1式 堤防養生工(伐木除根) 1式 法面補修工 1式 構造物補修工 1式 根固め工 1式 付属物設置工 1式 清掃工 1式 応急処理工 1式 堆積土砂撤去工 1式 土のう設置工 1式	高瀬堰より下流の太田川、旧太田川、古川、戸坂川の区間であり、川沿いに住宅地が密集している。洪水時、水質事故等の緊急な対応が必要である。	I型		30	15					5	20	70.0															
	8	太田川河川事務所	維持修繕	—	河川	太田川可部維持工事	【可部出張所管内】 緊急時対応工 1式 訓練工 1式 堤防養生工(伐木除根) 1式 構造物補修工 1式 護岸補修工 1式 樋門補修工(薬液注入) 1式 根固め工 1式 付属物設置工 1式 清掃工 1式 応急処理工 1式 堆積土砂撤去工 1式 土のう設置工 1式 【高瀬堰管内】 緊急時対応工 1式 清掃工 1式 堆積土砂撤去工 1式	高瀬堰より上流の太田川、三篠川、根谷川の区間であり、自然的景観や山間狭隘部に集落が点在している。洪水時、水質事故等の緊急な対応が必要である。	I型		30	15					5	20	70.0															

◆入札前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重要審査工事を示す

総合評価審査委員会重点審査工事	No.	事務所名	工事種別	区分	工事名	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること)	評価区分	難易度	加 点									技術提案、施工計画 【求めた技術提案】	技術資料提出者数	入札参加資格者数(欠格者を除く数)	競争参加資格不可社数			評価点			備考									
										① 施工体制	② 企業の施工実績	③ 登録基幹技能者又は建設マスター	④ 企業の技術力(有効な新技術の活用)	⑤ 施工能力(情報化施工の活用)	⑥ 現場担当技術者(現場担当配置計画)	⑦ 地元企業活用促進型	⑧ 地域精進度・地域貢献度	⑨ 配置予定技術者の能力				合計	競争参加資格不可社数	施工計画不可社数	平均点	最高点	最低点										
																													平均点	最高点	最低点						
	9	太田川河川事務所	維持修繕	河川	太田川加計維持工事	緊急時対応工 1 式 訓練工 1 式 除草工 1 式 堤防養生工(伐木除根) 1 式 法面補修工 1 式 構造物補修工 1 式 護岸補修工(薬液注入) 1 式 根固め工 1 式 付属物設置工 1 式 清掃工 1 式 応急処理工 1 式 堆積土砂撤去工 1 式 土のう設置工 1 式	中流部の太田川、滝山川の区間であり、豊かな自然環境に恵まれている。洪水時、水質事故等の緊急な対応が必要である。	I型		30	15						5	20	70.0																		
	10	太田川河川事務所	維持修繕	河川	小瀬川維持工事	緊急時対応工 1 式 訓練工 1 式 除草工 1 式 堤防養生工(伐木除根) 1 式 法面補修工 1 式 構造物補修工 1 式 護岸補修工 1 式 根固め工 1 式 付属物設置工 1 式 清掃工 1 式 応急処理工 1 式 土のう設置工 1 式	弥栄ダムより下流の区間であり、河口域は市街地と工業地帯を形成し氾濫区域内の人口・資産のほとんどが集積している。洪水時、高潮、水質事故等の緊急な対応が必要である。	I型		30	15						5	20	70.0																		
	11	三次河川国道事務所	維持修繕	河川	江の川吉田維持工事	緊急時対応工 1 式 災害対策機械実運転点検工 1 式 堤防除草工 A= 830,000㎡ 伐木除根工 A= 5,000㎡ 河道堆積土砂撤去工 V= 1,000m3 塵芥処理工 V= 400m3 護岸補修工 A= 200㎡	異常気象時等における河川巡視等の緊急時対応が重要である。	I型		30	15						5	20	70.0																		
	12	三次河川国道事務所	維持修繕	河川	江の川三次維持工事	緊急時対応工 1 式 災害対策機械実運転点検工 1 式 堤防除草工 A= 924,000㎡ 伐木除根工 A= 10,000㎡ 河道堆積土砂撤去工 V= 2,500m3 法面補修工 A= 1,000㎡ 塵芥処理工 V= 500m3 護岸補修工 A= 100㎡ 樋門・樋管本体工 1 式	異常気象時等における河川巡視等の緊急時対応が重要である。	I型		30	15						5	20	70.0																		
	13	土師ダム管理所	維持修繕	河川	土師ダム貯水池周辺維持工事	緊急時対応工 1 式 除草工 1 式 堤防養生工 1 式 清掃工 1 式 撤去物処理工 1 式 河川土工 1 式	当該ダムの管理区域内の維持修繕(主に土木作業)を行うものである。	I型		30	15						5	20	70.0																		

◆入札前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重要審査工事を示す

総合評価審査委員会重点審査工事	No.	事務所名	工事種別	ランク	区分	工事名	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること)	評価型区分	難易度	加 点									技術提案、施工計画 【求めた技術提案】	技術資料提出者数	入札参加資格者数(欠格者を除く数)	競争参加資格不可社数		評価点			備考						
											① 施工体制	② 企業の施工実績	③ 登録基幹技能者又は建設マスター	④ 企業の技術力(有効な新技術の活用)	⑤ 施工能力(情報化施工の活用)	⑥ 現場担当技術者(現場担当配置計画)	⑦ 地元企業活用促進型	⑧ 地域精進度・地域貢献度	⑨ 配置予定技術者の能力				合計	競争参加資格不可社数	施工計画不可社数	平均点	最高点		最低点					
	14	三次河川国道事務所	維持修繕	-	河川	灰塚ダム維持工事	緊急時対応工 1式 水面清掃工 60日 除草工 A=40,000m2 伐木除根工 A=1,500m2 管理用施設修繕工 1式 周辺施設整備工 1式	貯水池の環境保全のため、周辺整備や管理施設の補修・修繕、緊急時における対応、出水における塵芥処理等様々な事象を、速やかに行う必要がある。	I型		30	15						5	20	70.0														
	15	弥栄ダム管理所	維持修繕	-	河川	弥栄ダム維持工事	除草工 1式 堤防養生工 1式 清掃工 1式 植栽維持工 1式 応急処理工 1式	当該ダムは湖面利用が盛んであり、ダム湖内の流木はその支障となるため、速やかに確実な回収が必要である。	I型		30	15						5	20	70.0														
	16	温井ダム管理所	維持修繕	-	河川	温井ダム維持工事	除草工 1式 (除草 A=87,000m2) 施設修繕工 1式 路面補修工 1式 清掃工 1式 (散在塵芥処理 A=25,300m2、水面清掃1式) 植栽維持工 1式 (剪定 A=4,500m2) 応急処理工 1式 仮設工 1式 (除雪)	本工事は、温井ダムの維持管理を行うものであり、除草箇所はダム来訪者が利用される管理用道路及び駐車場が近接していることから、一般車両と歩行者に対して飛散に対する配慮が必要となる。	I型		30	15					5	20	70.0															
	17	三次河川国道事務所	維持修繕	-	道路	尾道松江線北部保守工事	工事延長 L=28.0km ・巡視・巡回工 1式 ・舗装工 1式 ・防護柵工 1式 ・道路付属施設工 1式 ・道路付属物復旧工 1式 ・道路小計維持補修工 1式 ・道路清掃工 1式 ・除草工 A=100,000m2 ・応急処理工 1式 ・構造物撤去工 1式 ・除雪工 1式	現道部における緊急的な作業が多く、緊急作業発生時の初動が重要である。	I型		30	15					5	20	70.0															
	18	三次河川国道事務所	維持修繕	-	公園	備北丘陵公園維持工事	応急処理事業工 N=1式 舗装版撤去 A=5,000m ² アスファルト舗装 A=5,000m ² 不陸整正 A=5,000m ² 区画線 L=2,400m 擬木階段 N=120段 転落防止柵 L=600m 橋梁補修(断面修復) N=4橋 地中管内配線 L=1,890m 公園施設撤去工 N=1式	舗装の劣化等により公園利用サービスの低下に懸念があるため、舗装時の品質管理(特に合材の温度管理)が重要となる。	I型		30	15					5	20	70.0															
											計																							

◆入札前の審査【チャレンジ型】対象工事一覧

※下表において、◎は重要審査工事を示す

総合評価審査委員会重点審査工事	No.	事務所名	工事種別	ランク	区分	工事名	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容 やサイト特性をわかりやすく記載すること)	評価型区分	難易度	加 点									技術提案、施工計画 【求めた技術提案】	技術資料提出者数	競争参加資格不可社数	入札参加資格者数(欠格者を除く数)	評価点			備考				
											① 施工体制	② 企業の 施工実績	③ 登録基幹 技能者又は 建設マスター	④ 企業の技術力 (有効な新技術 の活用)	⑤ 施工能力 (情報化施工の 活用)	⑥ 現場担当技術者 (現場担当配置 計画)	⑦ 地元企業活用 促進型	⑧ 地域精進度・ 地域貢献度	⑨ 配置予定技術 者の能力					合計	平均点	最高点		最低点			
1	三次河川国道事務所	一般土木	C	道路	国道54号佐々井地区改良外工事	工事延長 L=300m 道路土工 掘削工 V=180m ³ 盛土工 V=810m ³ 法面工 A=110m ² As舗装工 A=400m ² 擁壁工 一式 カルバート工 L=5.4m 排水構造物工 L=29m 縁石工 L=260m 防護柵工 L=24m 区画線工 L=883m 道路附属施設工 一式 情報ボックス工 L=50m 構造物撤去工 一式 仮設工 一式	本工事は、国道54号の広島県安芸高田市八千代町佐々井～勝田地内における道路改良工事である。	チャレンジ型		30	2						3	5	40.0	—											
											計																				

平成27年度 広島県第一部会（第11回）

審査対象業務一覧表

平成28年2月10日

